

年 組 名前：

地方病との闘い紹介



地方病について説明する出井寛館長

＝南アルプス市鏡中条

南アルプス市鏡中条の住民らでつくる上村、下村両地区の「支えあい協議体」は8日、

南ア「西の小野医院」で催し

同所のパン店「アイディールベーカリー」で、地方病（日本住血吸虫病）や、地方病の

撲滅に尽力した旧鏡中条村出身の医師小野徹について子どもたちに伝えるためのイベントを開いた。子どもたちに地方病への理解を深めてもらうとともに、地域の交流を促そうと企画。小野の生家や医院があった建物を改修した同店を会場に実施し、小学生や地域住民ら約50人が参加した。イベントでは高校生ボランティアが地方病について紙芝居を使って紹介。地方病は脳や肝臓などに障害を起こす風土病であることや、終息までの経緯を説明した。昭和町風土伝承館杉浦医院の出井寛館長による講演もあり、「西の小野医院、東の杉浦医院」と呼ばれるなど、小野が地方病の研究を重ねて撲滅に貢献したことを伝えた。若草小6年の塚原永愛さん

(2024年8月9日付 山梨日日新聞 19面)

は「学校で学んだときよりも詳しく地方病について知ることができた。家族にも教えた」と感想。下村地区支えあい協議体の坂本秀明代表(75)は「地域の人が地方病で苦しんだ歴史がある。若い世代に伝えることで風化を避けた」と話した。

〈井村賢紳〉

問1 南アルプスの住民らでつくる「支えあい協議体」は、だれになにを伝えるイベントを開きましたか。

・だれに：

・なにを伝える：

問2 会場となったパン店は、以前、何があった建物ですか。

.....

問3 地方病は、体のどこに障害を起こす病気ですか。

.....